

## 私の願い

### 私の夢

私には1つの夢があります。大きな夢です。1つであって2つではありません。それは（日本語）文法を化学のような科学にすることです。

### あれから50年

大学の学部時代に日本語に文法的性質の似た言語であるモンゴル語を学び、また言語学も勉強して、この夢を持つようになりました。そして50年が経過して、この夢がかなり実現しました。このホームページをご覧いただければ、それがどの程度実現したかを知っていただけたと思います。

### 古い研究方法では限界

日本語の文法はこれまで多くの研究者によって研究され、すでに研究しつくされていて、これから若い研究者が入っていく余地はない、と考える人もいます。確かに、先人たちの行っていた研究方法をそのまま採るならば、そうかもしれません。しかし、その方法は唯一の正しい方法だったのでしょうか。私の目には、その方法は非常に日本人的な特殊な要素があるように思えてなりません。その研究方法では研究はこれ以上進められません。限界にきています。

### 構造モデル・時相モデル

日本語文法研究の採るべき道は、正確な形態素分析を行い、それらの形態素がどのように構造を作り上げているのかを解明していくことです。構造の基本単位は、非常に単純なもので、実体（名詞的なもの）と属性（動詞、形容詞等）とその両者を関係づける「格」によって構成されています。これが組み合わせられて大きな構造を形成していきますが、この構造は立体モデルで示すことができます。また、時相（テンス・アスペクト）等も、モデルが設定できているので、容易に把握することができるようになっていきます。

### 精神年齢の若い人に託します

私は古希も過ぎ、この先どこまでこの夢の実現に向けて進んで行くことができるのか分かりません。（実年齢ではなく、精神年齢の）若い人にこの夢を託したいと思います。研究をさらに進めてください。